

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【公表番号】特表2008-532639(P2008-532639A)

【公表日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-033

【出願番号】特願2008-500891(P2008-500891)

【国際特許分類】

A 44 B 18/00 (2006.01)

A 61 F 13/49 (2006.01)

A 61 F 13/56 (2006.01)

【F I】

A 44 B 18/00

A 41 B 13/02 H

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月6日(2009.3.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ループ布帛と係合するファスナ(14)であって、複数の係合突起(13)のある前面(20)を有するベース(4)を備え、前記係合突起の少なくとも幾つかが、前記突起を取り囲む縁部角度を形成する上面端部と、付着端部と、前記上面端縁部から前記付着端部まで延在するマントル面とを有し、前記マントル面(28)の側面図の少なくとも1つの輪郭線が、上面縁部から前記付着端部まで厳密に凸状である、ファスナ(14)。

【請求項2】

前記少なくとも幾つかの係合突起上面端部が、構造化されている、請求項1に記載のループ布帛と係合するファスナ(14)。

【請求項3】

前記少なくとも幾つかの係合突起が第1の材料で形成され、前記ベースの前面が前記第1の材料とはある特性が異なる第2の材料で形成されている、請求項1または2に記載のループ布帛と係合するファスナ(14)。

【請求項4】

前記係合突起が、少なくとも2種類の異なる粒子で形成されている、請求項1～3のいずれか一項に記載のループ布帛と係合するファスナ(14)。

【請求項5】

- ・複数の好適なポリマー粒子を提供する工程、
- ・前面を有するベースを提供する工程、
- ・好適な表面エネルギーの接触離型面を提供する工程、
- ・前記接触離型面上に前記複数のポリマー粒子を分散させ、それによって、前記接触離型面に着座し且つ前記接触離型面から対応する末端部まで突出する別々の予備形成突起を形成する工程、
- ・好適な粘度の少なくとも半液状で前記接触離型面上に分散されるポリマー粒子を提供し、前記粒子の少なくとも幾つかが、前記ポリマー粒子の表面エネルギーと前記接触離型面の表面エネルギーに影響される接触縁部を有する予備形成突起に変化するのに十分な時

間、前記接触離型面と接触する工程、

・前記ベースの前面を前記予備形成突起の少なくとも幾つかの末端部と接触させ、固定する工程、

・前記ベースを取り外し、それによって、前記ベースに固定されている前記予備形成突起を前記離型面から分離させる工程、および

・それによって、前記ベースの前面から突出する係合突起を形成する工程、
を含む、ファスナの形成方法。

【請求項 6】

身体側ライナーと、少なくとも一部不織布で形成された外面とを備える使い捨ておむつ(10)であって、少なくとも1つの側部に請求項1~5のいずれか一項に記載の雄メカニカルファスナが提供されているおむつ。